

地域の水

1. 水環境と人間活動のかかわり

水環境：建築および都市・地域においてさまざまな形態で存在する水と、それを人々が利用し、また、それから種々の影響を受けている総体

- ①治水機能（洪水排除，河川・水路の維持，地下水涵養など）
- ②利水機能（生活・工業・農業での水利用，水運など）
- ③環境保全機能（生態系の維持，気候調節，地域空間と景観の維持など）
- ④親水機能（レクリエーション，精神的生活空間としての利用など）

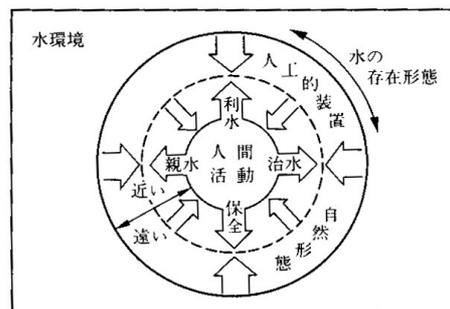


図 水環境と人間活動のかかわり（出典：参考文献 [1]，p. 8）

2. 治水機能

「治水」＝「水を治める」

→洪水のコントロールだけではなく、舟運や取水利用するための工事なども含めた総称が元来の意味か？

「水を治めるものは、国を治める」

(1) 明治以前の「なだめる」方式の治水

「流速を緩める」ことを第一とし、大洪水に対してはある程度の氾濫を前提
+ 農業用水の確保と舟運を念頭においた「流量の安定」を主眼

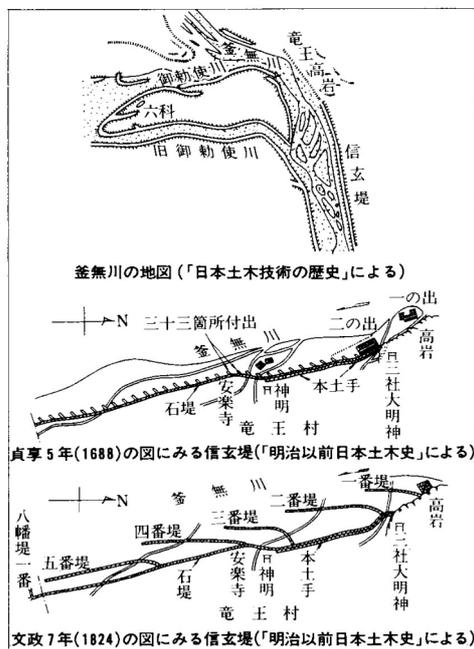


図 信玄堤（出典：参考文献 [2], p. 9）

(2) 近代の「押し込める方式」の治水

「洪水は川が処理するもの」、そして「できるだけ早く海へ押し出す」ということだけを考えた「まっすぐ」な川

(3) 「総合治水対策事業」への転換

流域の雨水流出抑制や建築物の耐水化等も含めた治水に
例えば

『白川水系河川整備計画』（平成14年7月23日，国土交通省九州地方整備局+熊本県）

(<http://www.pref.kumamoto.jp/traffic/SSPLAN/index.html>)

なども参照。

3. 利水機能

(1) 昔の上水道

- ・1632年起工の加賀前田藩の辰巳用水

金沢の用水（金沢市のホームページより，

http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/keikan/yousui/yo_map.html)

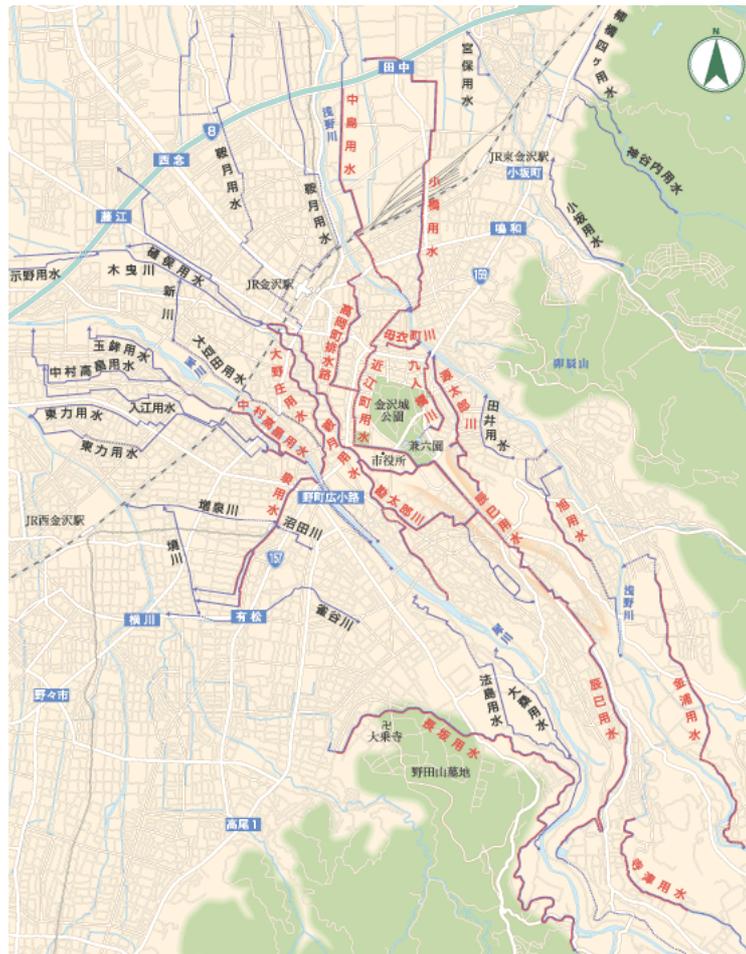


図 金沢の用水マップ

- ・江戸の玉川上水
- ・通潤橋

矢部町ホームページより (http://www.town.yabe.kumamoto.jp/1_0/frame1.htm)

通潤橋は熊本県上益城郡矢部町長原にある。江戸時代に造られた日本最大の水を通す石橋。農業用水や生活用水を白糸台地に送るために、矢部手永の惣庄屋である布田保之助らによって1854（安政元）年に完成した。

約6 km離れた笹原川の上流から水を引き、水路の総延長は約30km、かんがい面積は約42haにも及び、通潤橋の完成後に、約100haもの新しい水田が開墾された。現在では約170ヘクタールに水を送っている。

1960（昭和35）年に国の重要文化財に指定された。

通潤橋の中に3本の通水管が埋設されており、浜町台地から白糸台地へ水を送る。浜町台地側の「水ため」の水面と橋との標高差は約7.5m、白糸台地側の「水ため」の水面と橋との標高差は約5.8m、浜町台地側の「水ため」から白糸台地側の「水ため」への落差は約1.5mである。

・京都の琵琶湖疎水

琵琶湖疎水記念館（京都市のホームページより，
<http://www.city.kyoto.jp/suido/kinenkan.htm>）

（2）利用しうる水

水道水，天水（降水），地表水，河川水，湖沼水，貯水池，地下水，井水，湧泉水，伏流水，再生水，海水など

（3）渇水と再生水の利用

- ・再生水の用途：水洗便所洗浄用雨水，散水，修景用水，消火用水など
- ・渇水：昭和53年や平成6年の福岡の渇水

（国土交通省関東地方整備局河川部のホームページより，
http://www.ktr.mlit.go.jp/kyoku/1_topics/6_kassui/kassui.htm）

4. 環境保全機能

（1）生命の維持，生態系の維持（人も，植物も，他の動物も）

（2）水による温熱環境の調整，光環境の調整，音環境の調整，空気環境の調整

- ・水面や緑地が周囲の温熱環境に影響→高温化の抑制
- ・建築における気候緩和

夜間の放射冷却，屋根散水による蒸発冷却と熱取得の低下，伝統的民家の屋根の蒸発冷却，打ち水・池の蒸発冷却，植物の蒸発散による冷却効果，熱源としての川や海など

5. 親水機能

（1）水に接する機会

- ・建築的水空間（例えば，寝殿造りの釣殿，広島 of 厳島神社，アルハンブラ宮殿の中庭など）
- ・ウォーターフロント →（4）を参照。
- ・河川や湖沼空間（参考文献〔6〕なども参照。）

→近自然工法

多自然型川づくり：必要とされる治水上の安全性を確保しつつ，生物の良好な生息・生育環境

をできるだけ改変しない、あるいは改変せざるを得ない場合においても最低限の改変にとどめるとともに、良好な河川環境の保全あるいは復元を目指した川づくりのこと。

(リバーフロント整備センターのホームページ (<http://www.rfc.or.jp/index.html>) より)

(2) 水との距離

・近い水空間

水辺空間 (階段状水際, 連続床, 水面持ち上げ)

水上空間 (泉殿, 釣殿, 橋, 伝石, 船)

水中空間

・中程度の距離の水空間

川の流れや大きな滝

・遠い水空間

山の向こうの海, 海辺から見える地平線

(3) 水量と演出 (参考文献 [4] などを参照。)

・水の量

ちよろちよろ (毎分 0.1m^3 程度)

ひたひた (毎分 1m^3 程度)

ざあざあ (毎分 m^3 程度)

ごうごう (毎分 m^3 程度)

・水空間演出のための装置

流水 (水路, せせらぎ, 小川・・・)

落水 (滝, 筋落ち, 布落ち, 膜落ち・・・)

噴水 (噴射, 湧水, 放水・・・)

溜水 (池, プール, 起流, 造波・・・)

(4) ウォーターフロントの開発・再開発 (参考文献 [5] などを参照。)

1) 港湾周辺部の開発・再開発 (百道浜, 博多港, 三角東港, 三角西港など)

2) 河川・運河の開発・再開発 (小樽運河など)

3) 建築物・施設レベルでの開発・再開発 (坪井川と唐人町の建物など)

4) 伝統ある水辺空間の蘇生・活用・再開発 (柳川の掘り割り, 長崎・眼鏡橋など)

6. 参考文献（〔〕内は、熊本県立大学附属図書館所蔵情報）

- [1] 『建築と都市の水環境計画』（日本建築学会編，彰国社，1991年10月，¥4,835+税，ISBN：4-395-00323-0）〔開架2，518||N 77，0000256341〕
- [2] 『都市の風水土 都市環境学入門』（福岡義隆編著，朝倉書店，1995年4月，¥3,500+税，ISBN：4-254-16332-0）〔開架2，519||F 82，0000220148，0000221369，0000221370〕
- [3] 『新体系土木工学 別巻 日本土木史』（八十島義之助編著，技報堂出版，1994年7月，¥6,000+税，ISBN：4-7655-1205-3）〔開架2，510.8||Sh 69||別，0000275984〕
- [4] 『景観学研究叢書 景観水理学序論』（逢澤正行，鹿島出版会，2002年7月，¥3,200+税，ISBN：4-306-07701-2）〔所蔵なし〕
- [5] 『親水工学試論』（日本建築学会編，信山社サイテック，2002年7月，¥3,500+税，ISBN：4-7972-2557-2）〔所蔵なし〕
- [6] 『川づくりをまちづくりに』（樋口明彦+川づくり研究会，学芸出版社，2003年12月，¥1,800+税，ISBN：4-7615-1185-0）〔所蔵なし〕
- [7] 『エコロジーと歴史にもとづく地域デザイン』（法政大学大学院エコ地域デザイン研究所編，学芸出版社，2004年6月，¥1,900+税，ISBN：4-7615-1190-7）〔開架2，518.8||H 91，0000283550〕
- [8] 『風・光・水・地・神のデザイン-世界の風土に叡智を求めて-』（古市徹雄，彰国社，2004年3月，¥2,400+税，ISBN：4-395-00697-3）〔所蔵なし〕
- [9] 『環境と都市のデザイン 表層を超える試み・参加と景観の交点から』（齋藤潮・土肥真人編，柴田久・田中尚人・上島顕司・永島為介著，学芸出版社，2004年11月，¥2,200+税，ISBN：4-7615-2346-8）〔所蔵なし〕
- [10] 『現代日本土木史』（高橋裕，彰国社，1990年5月，¥2,835+税，ISBN：4-395-04005-5）〔開架2，510.921||TA 33，0000185142〕
- [11] 『日本の川を甦らせた技師デ・レイケ』（上林好之，草思社，1999年12月，¥2,500+税，ISBN：4-7942-0928-2）〔所蔵なし〕
- [12] 『日本の水環境 7 九州・沖縄編』（日本水環境学会編，技法堂出版，2000年10月，¥5,000+税，ISBN：4-7655-3166-X）〔開架2，519.4||N 77||7，0000253384〕
- [13] 『都市水辺空間の再生』（大野慶子，ミネルヴァ書房，2004年3月，¥4,000+税，ISBN：4-623-03949-8）〔所蔵なし〕
- [14] 『水路の用と美 農業用水路の多面的機能』（渡部一二，山海堂，2002年12月，¥2,800+税，ISBN：4-381-0150-2）〔所蔵なし〕
- [15] 『私たちの「いい川・いい川づくり」最前線』（「いい川・いい川づくり」編著，学芸出版社，2004年7月，¥2,500+税，ISBN：4-7615-2342-5）〔所蔵なし〕
- [16] 『熊本を科学する 都市工学トピックス』（熊本日新聞情報文化センター制作，九州東海

大学，2001年3月，¥952+税，ISBN：4-87755-101-8）〔所蔵なし〕

[17] 『農を守って水を守る 新しい地下水の社会学』（柴崎達雄編著，築地書館，2004年6月，
¥1,800+税，ISBN：4-8067-1288-4）〔開架2，518.12||Sh 17，0000283197〕

[18] 『水の循環 地球・都市・生命をつなぐ” 暮らし革命”』（山田國廣編，藤原書店，2002年
6月，¥2,200+税，ISBN：4-89434-290-1）〔植物資，518.1||Y 19，0000282560〕

7. 参考 URL

[1] 配付資料のダウンロード

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/kougi.html/chiiki.html/chiikikan.html>

[2] 金沢の用水について（金沢市のホームページより）

http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/keikan/yousui/yo_map.html

[3] 三鷹市教育センター作成「郷土学習資料 玉川上水」

<http://www.education.ne.jp/kyoiku-center-mi/tamagawa/index.htm>

[4] 通潤橋について（矢部町のホームページから）

http://www.town.yabe.kumamoto.jp/1_0/frame1.htm

[5] 琵琶湖疎水記念館について（京都市のホームページより）

<http://www.city.kyoto.jp/suido/kinenkan.htm>

[6] 湯水について（国土交通省関東地方整備局河川部のホームページより）

http://www.ktr.mlit.go.jp/kyoku/1_topics/6_kassui/kassui.htm

[7] 国土交通省河川局

<http://www.mlit.go.jp/river/index.html>

[8] リバーフロント整備センター

http://www.rfc.or.jp/center/gai_f.html

[9] 社団法人ウォーターフロント開発協会

<http://www.waterfront.or.jp/>

[10] 博多港開発株式会社

<http://www.port-hakata.co.jp/index.html>

[11] 九州川の情報室

<http://www.kawa-guide.jp/>

[12] 川に学ぶ体験活動協議会

<http://www.rac.gr.jp/>

[13] 国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所

<http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/>

[14] ICGのホームページ（『Hand to Land』の編集室（国・県・市町村をはじめ各種公共機関の地域連携事業として展開されている、「くまもとの川と道を考える情報誌」）

<http://www.e-htol.com/index.html>

8. スライドリスト

北九州市門司区・下関市・北九州市小倉北区（2004年11月20日，12月28日・29日）

（1）北九州市門司区

- ・旧門司税関1号上屋（大蔵省営繕管財局工務部工務課，1929年）
- ・旧門司駅（鉄道院九州鉄道管理局工務課，1914年）
- ・旧日本郵船門司支店（八島知，1927年）
- ・旧三井物産門司支店（松田軍平，1937年）
- ・ホームリング商会（不詳，1962年）
- ・旧大阪商船（河合幾次，1917年）
- ・門司港ホテル（アルド・ロッシ他，1997年）
- ・門司港レトロハイマート（黒川紀章建築都市設計事務所，1999年）
- ・旧門司税関（妻木頼黄+咲寿栄一／大蔵省臨時建築部，1912年，1994年改修）
- ・旧門鉄会館（松田昌平，1921年）
- ・西日本シティ銀行門司支店（設計者不詳，1951年）
- ・旧横浜正金銀行門司支店（桜井小太郎，1934年）
- ・旧日本船舶通信ビル（設計者不詳，1950年）
- ・旧二十三銀行門司支店（佐伯建築事務所，1922年）
- ・明治屋門司支店（曾禰達蔵，1908年）
- ・旧藤本ビルブローカー銀行門司支店（設計者不詳，1924年）
- ・旧門司郵便局電信課（山田守/逋信省，1924年）
- ・旧門司信用組合（門司市技師，1930年）
- ・マリングート・門司（浅田典生/洋建築事務所，1997年）

（2）下関市

- ・下関地方卸売市場 唐戸市場（池原義郎・建築設計事務所，2001年）
- ・旧英国領事館（ウィリアム・コウワン，1906年）
- ・関門ビル（設計者不詳，1931年）
- ・旧秋田商会（設計者不詳，1915年）
- ・旧赤間関郵便電信局（三橋四郎，1900年）

（3）北九州市小倉北区

- ・小倉駅ビル（KAJIMA DESIGN+九州旅客鉄道一級建築士事務所，1998年）
- ・旧小倉そごうビル（石本建築事務所，1993年）
- ・リバーサイドウォーク北九州（マイケル・グレイブス，2003年）
- ・木の橋（上田篤）
- ・鶴の交番（上田篤+都市工房，1993年）
- ・井筒屋本店新館（日建設計，1998年）
- ・東京第一ホテル小倉（岡田建築設計，1997年）
- ・おまけ 自記式温湿度計